

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第90回放送の概要 (2014年12月27日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なか (中嶋邦弘)
あな (岸本幸恵)

コアラさんの地域瓦版

かりん (妹尾優香)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 川柳は、庶民の生活の中から生まれた、日本独自の文芸です。我々愛好会の同人は、この世の森羅万象を面白おかしく、物事の真理をずばりと突いたり、時には社会の矛盾を辛辣に風刺したり、人情の機微などを五・七・五のわずか十七音字の世界で遊んでいます。学歴、職種、経歴を超越して過去のことは問わず、今の自分を大事にして川柳を作っている仲間の会です。本日はゆうかり放送委員会のサポーターで、川柳を愛し、酒を愛するドリンカー (drinker) 川柳愛好会様のご協力をいただきました。

1. ゲストコーナー (1): 吉川弓子さん (61 陽会) 兵庫盲導犬協会 事務局長

高校時代の3年間が人生で一番楽しかった。小中高一緒の友達が多く、現在も日常的に付き合っている友人も多く、年に何回か集まり飲み会などを行っている。自由な雰囲気があったのでのびのび過ごした。

盲導犬協会に入ったきっかけは、結婚子育て後の社会復帰に際し、人の役に立つ仕事をしたいと思っていたので、当時任意団体 (その後社団法人を経て社会福祉法人に変わった) であった盲導犬協会の募集に応募した (1997年)。事務所は中央区の産業会館内 (水の博物館の南) にあり、周辺は震災の傷跡だらけであった。生田川も半分崩れ、仮設住宅も沢山あり、来年は震災20年であるが今も鮮明に記憶している。震災で道が変わると、視覚障害者の方は頭の中の地図が変わるので、サポートする人に対する講習会を開催した。道は刻々変わるので大変だった。

吉川さんは子供の頃は犬に囲まれていたが、野良犬が多く追いかけられ噛まれた事があり恐くなった。盲導犬協会の仕事を始めた頃も怖かったが、かわいいラブラドル犬に出会って怖さがなくなった。

事務局長としては、協会の運営全般をみており、理事会への議案書を作成したり運営方針を提案する仕事をしている。施設長との両輪で協会を動かしている。啓発活動としては、神戸市の小中学校43校、加古川、姫路、能勢などを含めると年間100校ほどに出向いている。吉川さんが担当していた頃は、盲導犬の使用者と盲導犬と一緒にいき、啓発とデモンストレーションを見てもらったりしていたが、今は犬のデモンストレーションとビデオによる説明に変わり一人で対応するようになっている。

盲導犬は角・段差・障害物を使用者に知らせます。使用者は頭の中の地図（イメージマップ）に従い、犬に英語で命令している。同じ生活道路を通っていると犬もわかってくるので、簡単な説明でも目的地に連れて行ってくれるようになる。犬の訓練は協会の神戸総合訓練センターで行っているが、西神中央や富士見が丘など近隣の住宅地に出向いた訓練もしている。視覚障害者に盲導犬を引き渡す共同訓練時は、その人の家の近くで道を覚える訓練をしている。昨日は訓練を終えた盲導犬を、東大阪の視覚障害者に引き渡す出発式をおこなったところである。



兵庫盲導犬協会

2. ミュージック：「花は咲く」 東京少年少女合唱団

作詞岩井俊二さん、作曲菅野よう子さんの東日本大震災復興支援ソングです。来年は阪神淡路大震災20年の年でもあるのでこの曲を選びました。

3. ゲストコーナ（2）

盲導犬にはラブラドルレトリバーが主に使われている。盲導犬育成は、繁殖、訓練、使用者の使い方が重要であるが、最初のステップである繁殖については、盲導犬に適する稟性を持っているか、健康であるかが大事で、AGBN（Asia Guide Dog Breeding Network）加盟の日本の盲導犬協会、韓国、台湾などと協力し合って、交配させたり、管理された中で繁殖している。

協会所有犬は現在60頭ほどいるが、全てを協会で世話するのは大変なため、生ませてくれるボランティア、預かってくれるボランティア、ベビーシッターボランティア、人間を理解させるため生後60日から1歳まで預かってくれるボランティア（パピーウォーカー）などの協力を得ている。

兵庫盲導犬協会は年間3~4頭育成している。そのためには20頭程の候補犬が必要で、訓練などの結果から盲導犬になれないと判断された犬は、キャリアチェンジ犬として一般家庭にもらわれていく。協会の訓練士は歩行指導員2人、訓練士2人、他には犬舎管理、訓練士の勉強をしている人がいる。歩行指導員は訓練士の有資格者が、さらに視覚障害者に関する知識についても熟知した場合に与えられる資格である。これらの資格は全国盲導犬施設連合会の策定するカリキュラムに合格する必要がある。協会には採用時のインターンシップ制度があり、採用された研修生が訓練士への勉強をしている。

盲導犬の育成費用は1頭約500万円、視覚障害者には無償貸与している。無償はどなたに対しても均等であること、貸与は協会の指導が常に出来る状態にある事が必要なためである。盲導犬は浄財で育成しているので、使用者の扱いが不適切な場合などには引き上げ措置も必要となる。

街で盲導犬に出会った時は暖かく見守ってほしいですが、具体的には4つのお願いがあります。

兵庫盲導犬協会啓発ソング「四つのおねがい」は、盲導犬に出会ったら注意して欲しい事を、誰もが知っているメロディーで、覚えて頂きやすいようにアメリカ民謡「森のくまさん」の替え歌になっています。ジャズヴォーカルが趣味の吉川さんに手話を交えて歌って頂きました。

「四つのおねがい」 作詞：島田 剛 編曲：前田 秀博

ある日 街の中 盲導犬に出会った 声をかけないでね さわらないでね
ある日 街の中 盲導犬に出会った おやつはあげないでね 信号は教えてね
今日はみなさんありがとう 本当にみなさんありがとう

「声をかけないでね」は、視覚障害者は地図が頭にあり、歩くことに集中しているので犬に声をかけると犬がよそ見し違う方向に進む事があり、集中が途切れるのでお願いしています。

「さわらないでね」は、犬は触られると尻尾を振って気が散るし、階段の途中で触られると急に止まることになるので階段から落ちたりする危険があるからです。

「おやつは上げないで」は、犬は完全栄養食のドッグフードのみ食べるよう管理されているので、それ以外の物を与えると欲しくなり健康管理が出来なくなるためです。

「信号は教えてね」は、犬は色がわからないので視覚障害者が人の気配で判断するので、事故に遭遇しないよう、一言信号の色を教えてくださいということなのです。



使用者の足元にダウンして待つ、
訓練をしているところ。



神戸総合訓練センターの中の施設（階段や横断歩道等）を
使用して訓練しているところ。

盲導犬を育成するための費用は、募金活動、企業からの寄付などで賄っている。そのためリスナーの皆さんにお願いしたいのは募金箱を置いてもらう事、募金活動に出会ったら募金をお願いしたい事、盲導犬支援の自販機の設置、チャリティグッズの購入などにご協力いただきたいと思います。このほか犬に関するボランティア活動としては繁殖犬ボランティア、協会で子犬の世話をするベビーシッターボランティア、1歳までの犬を自宅で世話をするパピーウォーカー、盲導犬になれない犬をもらっても

らうキャリアチェンジ犬ボランティア、リタイアした盲導犬をもらってもらうリタイア犬ボランティアなどがあるので是非ご支援ご協力をお願い致します。

来年は協会設立 25 周年になるので、押部谷にある協会は今補修事業をしており、来年はリフォームで生まれ変わるので、この灯し火、活動をずっと伝えていくことが切なる想いです。

4. こぼれた話こぼれなかった話：スーパーキッズ・オーケストラの東北応援ツアーとパリ鎮魂演奏

- (1) 10月に放送しました佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラ（SKO）の子供たちは、2011年3月11日の東日本大震災以降、被災地の応援や鎮魂演奏活動を行っています。そのエピソードを紹介します。
- (2) 震災の発生した2011年8月、佐渡さんとSKOの子供たちは、大きな被害を受けた岩手県の釜石市と大槌町を訪問、多くの市民が犠牲になった釜石市鶴住居地区の根浜海岸、避難所となっていた大槌町の吉祥寺、避難所の釜石市民会館の3カ所で演奏会を行いました。
これは、震災直後、佐渡さんは、根浜海岸にある旅館「宝来館」の女将、岩崎昭子さんから「まだ海の中にいるだろう人たちに聴いてもらいたい。根浜海岸で演奏してもらえないか」という手紙を頂戴したんです。そして、海の見える根浜海岸の松林の中での鎮魂演奏が実現しました。
- (3) 翌2012年は、岩手の大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、宮城の南三陸町、石巻市、名取市と3日間の東北演奏ツアーでした。どれだけ凄いことか、バス移動で何とこのうち1日で、釜石の根浜海岸を朝8時、大船渡リアスホールで10時半、陸前高田の自動車学校で12時15分、南三陸ベイサイドアリーナで午後3時、石巻の小学校で午後5時半と、5回講演をやったのけたんです。オーケストラの移動は楽器・団員・スタッフの移動で何と言う強行軍だったんでしょうか。もちろん、13年も14年も夏休みの合宿終了直後に東北ツアーを行っています。
- (4) また、SKOは佐渡さんの活躍されているヨーロッパ、パリで震災1年後の鎮魂イベント（3.11メモリアルコンサートUNESCO）に参加するため、3月9日にパリに入りました。もちろん子供たちは機内泊です。渡仏直前に佐渡さんに届いたメールには、何と11日の本番じゃなく、到着日の夕方のノートルダム寺院での追悼ミサへの演奏依頼でした。
佐渡さんは、本来は到着日は旅の疲れを回復させる休憩日の予定だったのですが、高校生ならいざ知らず、長時間飛行初体験が多い小学生の団員たちには無理と思い、小学生たちには出場させないで演奏するつもりで、小学生たちに話しました。そうすると、彼らは、ガンとして出演すると表明したそうです。実際、控室では最年少の子供が鼻血を出してソファに横になっているような状態でも、彼女は出ると言ってきかないので、佐渡さんも了解したそうです。
- (5) ノートルダム2000人の聴衆に迎えられ、日本東北へのお祈りとミサを行った後、30分間の鎮魂演奏。皆さん総立ちで拍手喝さいでした。しかも、ノートルダムの大司教さんがお礼の花束を持って登場、花束は佐渡さんを通り越して、最年少で頑張った小学生に手渡されたそうです。
- (6) いやあ、世界も驚く凄い子供たちですね。

4. 地域瓦版

柳原蛭子神社の十日えびす大祭が1月9日（金）～11日（日）に開催されます。毎年40万人の人で賑わいます。9日は蛭子舞奉納神事があります。

1月10日（土）神戸市立地域人材支援センターで、10時～12時半、大学生による阪神淡路大震災を語るイベントがあります。震災を知らない大学生が学んだことを語ります。

1月17日（土）阪神淡路大震災追悼行事「1.17KOBEに灯りを in ながた」が新長田駅前広場で開催されます。10時から準備を始め、17時46分に黙祷、22時までろうそくの灯りを灯しています。2015年は震災20年で土曜日のため多くの方が追悼に来られます。実行委員会ではボランティアを募集しています。



5. 来月のゲスト

兵庫高校総合科学類型の生徒さんにお越し頂きます。

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>